# 10　産業環境マネジメント展

# 10　産業環境マネジメント展

## 10.1　産業環境マネジメント展（環境展）開催の目的

産業環境マネジメント(IEM)は、原料の調達から生産、卸売り、小売、さらに製品の消費から廃棄までのライフ･サイクルから発生する環境負荷を最小限にする努力により、持続可能な発展を目指すことを目的としている。

今回、本プロジェクトの目的と活動をフィリピン国内に広めることにより、IEMの意義を産業界、とりわけ中小企業の経営者に対して情報発信し、さらに企業行動に影響を及ぼす一般消費者の意識向上を目的に、産業環境マネジメント展（以降、環境展と称す。）を開催することとなった。環境展の主な目的は以下のとおりである。

1. 関連業界・団体へIEMに関する有用な情報を提供する
2. IEM導入の利益についてフィリピン企業の経営者に理解を深めてもらう
3. 過去に実施した本プロジェクトのセミナー及びワークショップの参加者により理解を深めてもらう
4. IEMに対する産業界の自主的な取組みを促進する
5. IEMについて一般消費者の意識を啓蒙する

## 10.2　環境展開催の取組み

### 10.2.1 実施体制

下記の体制で環境展を開催した。

表 10.2.1　環境展実施体制

| 主　　体 | 役　　割 |
|---|---|
| 現地イベント会社 | 環境展事務局（調査団より委託）<br>➢ 全体のコーディネート<br>➢ 企画<br>➢ 環境展準備にかかるロジスティック<br>➢ 広報活動 |
| BOI | ➢ グリーン購入法とISO取得パイロット・プロジェクトの発表準備<br>➢ 関連主体との調整<br>➢ 事務局の補助 |
| 展示者 | ➢ 各発表準備とそれに伴う必要経費の負担<br>➢ 環境展期間中のスタッフ常駐 |
| 調査団 | ➢ 資金及び技術支援<br>➢ スポンサー確保<br>➢ 来場者案内リストの作成 |
| 運営委員会 | ➢ 環境展企画の確認と承認<br>➢ 環境展への展示者としての参加 |

上記メンバーは、調査団が提案した計画（案）について議論し、開催を２日とした。また、各展示者による展示内容の統一性を図るために、環境展全体テーマが必要であると判断し、**"Respecting Environment for Industrial Competitiveness"** をテーマと決定した。

### 10.2.2 プログラム

環境展は、中小企業経営者および、IEM導入に予算配分を決定するか否かの経営者行動に影響を及ぼしうる一般消費者を対象としている。

より多くの来場者を確保するために、BOIと調査団は想定される来場者のアクセスを考慮して、経営者対象の環境展をマニラ・ペニンシュラ・ホテル、一般消費者対象にはオルティガスにあるSMメガモールで開催することとした。

#### （1） 環境展一日目（マニラ・ペニンシュラ・ホテル）

BOIと調査団は、フィリピン経営協会(Management Association of the Philippines) 環境部会の協力を得て、経営トップを対象に2003年6月９日にマニラ・ペニンシュラ・ホテルのボールルーム前の会場にて環境展を開催した。フィリピン経営協会は、フィリピン現地企業を中心とした約700社以上の会員で構成された団体である。９日午後に同協会の定時総会が同ホテルで開催されることから、より多くの企業経営者に来場してもらえるように、協会の総会会場の近くで展示を行った。また環境展と併催で企業トップを対象に第4回エンパワー・セミナーを実施した（セミナーの詳細については第9章参照）。表 10.2.2に環境展初日のプログラムを示す。

表 10.2.2　環境展第一日目のプログラム（ペニンシュラホテル）

| 時　　間 | 内　　容 |
|---|---|
| 2003年6月9日（月）<br>9:00-11:30：エンパワー・パイロット・プロジェクトとIEMアクション・プランの概要<br>（対象者：企業トップレベル） | |
| 9:00-9:30 | 登録開始 |
| 9:30-9:35 | JICAフィリピン事務所中垣所長の開催の挨拶<br>エンパワー調査の概要（BOI） |
| 9:35-9:40 | 廃棄物最小化パイロット・プロジェクトの概要 |
| 9:40-9:50 | Noah's Paper Mills, Inc.（紙・パルプのモデル企業） |
| 9:50-10:00 | Kemwerke, Inc.（化学のモデル企業） |
| 10:00-10:10 | Acetech Metal Industries Corp.（鋳物のモデル企業） |
| 10:10-10:20 | TSB Enterprises（食品のモデル企業） |
| 10:20-10:30 | エコラベル・プログラム・パイロットプロジェクト |
| 10:30-10:45 | 産業環境マネジメント・アクション・プラン |
| 10:45-11:30 | 環境展開会式<br>- 開会の挨拶（DTI, JICA, MAP）<br>- IEM情報システム・ウェブサイトの発足式 |
| 13:30-16:00 ： BOIのグリーン購入法策定とエコラベル・プログラム<br>対象：省庁 | |
| 13:30-14:00 | グリーン購入法 |
| 14:00-14:30 | グリーン・チョイス・フィリピン |
| 14:30-15:00 | IEM 情報ウェブ・サイト |

| 時　　間 | 内　　容 |
|---|---|
| 15:00-15:30 | IEM アクション・プラン |
| 14:00 | 環境展及びセミナー閉会 |

午前中のセミナーは、企業トップを対象に行った。廃棄物最小化パイロット・プロジェクトの実施者であるNGOのPhilippine Business for the Environmentより、廃棄物最小化パイロット・プロジェクトの実施背景などの説明後、モデル企業４社（紙・パルプ、化学、食品、鋳物）より、製造工程における廃棄物最小化の実践についての発表を行った。次に事務局であるC&GF（クリーン＆グリーン基金）によりエコラベル（グリーン・チョイス・フィリピン）、そしてBOIとJICA調査団による産業環境マネジメント・アクション・プランについての説明がなされた。

パイロット・プロジェクト概要説明後、出席者は、環境展オープニング・セレモニーへの出席のためにボールルーム付近へ移動した。オープニングは、DTIのドミンゴ次官、JICAフィリピン事務所の中垣所長、MAP代表者のフェレイラ氏によって、開会挨拶並びにリボンカットが行われた（環境展の模様はAnnex10.1）。

午後のセミナー（詳細は9章参照）は、主に政府機関のスタッフを対象にBOIのグリーン購入基本方針並びにエコラベル・プログラムについて行われた。

**（２） 環境展二日目（SMメガモール）**

一般消費者を対象とした環境展は、ペニンシュラホテル開催の翌日、６月10日にＳＭメガモールで開催された。集客を高めるためにフィリピンの慣習に従って、音楽バンド、子供向け環境ポスターコンクールを催した。表 10.2.3に二日目のプログラムを示す。

表 10.2.3　環境展第二日目のプログラム（ＳＭメガモール）

| 時　　間 | 内　　容 |
|---|---|
| 10:00 | 環境展開始 |
| 11:00 | 子供環境ポスターコンクール |
| 14:00 | Banda Para Sa Kalikasan（音楽バンド） |
| 16:00 | 環境ポスター表彰式 |
| 17:00 | 環境展終了 |

展示は、SMメガモールの正面玄関前の展示スペースにて行われた。なお、環境展の模様についてはAnnex10.1に記載されている。

### 10.2.3 環境展の出展者

本環境展の出展者は、主にエンパワー調査のパイロット・プロジェクト実施者並びに運営委員会メンバーである。下記に展示者名を記す。

表 10.2.4　展示者リスト

| 展示者名 | 展示内容 |
|---|---|
| BOI | BOIのグリーン購入法 |
| クリーン＆グリーン基金 | エコラベル（グリーン・チョイス・フィリピン） |

| 展示者名 | 展示内容 |
|---|---|
| Philippine Business for the Environment | 廃棄物最小化パイロット・プロジェクトの概要と産業環境情報システム |
| Noah's Paper Mills, Inc./<br>紙・パルプ業界団体 | 紙・パルプ工場の廃棄物最小化と同産業界の環境に関する取組み |
| Kemwerke, Inc./<br>化学業界団体 | 化学工場の廃棄物最小化と同産業界の環境に関する取組み |
| Acetech Metal Industries Corp./<br>鋳物業界団体 | 鋳物工場の廃棄物最小化と同産業界の環境に関する取組み |
| TSB Enterprises/<br>食品業界団体 | 食品工場の廃棄物最小化と同産業界の環境に関する取組み |
| DTI | 環境に関する取組み |
| DENR-EMB | 環境に関する取組み |
| PEZA | 環境に関する取組み |
| LLDA | 環境に関する取組み |
| DOST | 環境に関する取組み |
| Philexport | 環境に関する取組み |
| O.M. Manufacturing Phils.,Inc. | 自社のリサイクル業（payable exhibitor） |
| JICA | 日本の技術協力 |

調査団は、エンパワー調査の運営委員会メンバーである展示者に対して、展示場所と展示ブースを無償提供した。なお、各展示者の概要については、ディレクトリーに記載されている（Annex10.2参照）。

## 10.3 プロモーション活動

### 10.3.1 実施スケジュール

調査団が委託した現地イベント会社と調査団は、より多くの来場者を確保するために、広報活動内容とその実施スケジュールを下表のようにまとめ、広報活動を行った。

表10.3.1　プロモーション・スケジュール

| | ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ | 事務的業務 | 広報活動（印刷物作成含む） |
|---|---|---|---|
| 5月15日- 16日 | 出展者とスポンサーの最終確認 | • スピーカー（挨拶など）の決定<br>• ディレクトリー内容の打合せ<br>• フロアプラン（案）作成とBOI、JICAの確認<br>• 最終フロアプランを会場側へ提出 | • 環境展お知らせのBOIとPBEホームページ掲載準備<br>• チラシ、ポスターデザインの作成<br>• バーナー広告、ディレクトリーデザインの作成<br>• メディア（TV、ラジオ局、新聞社）への広報活動<br>• ポスター印刷 |
| 5月17日-18日 | • 週末 | | |

| | ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ | 事務的業務 | 広報活動（印刷物作成含む） |
|---|---|---|---|
| 5月19日-23日 | | 出展者マニュアルの作成<br>出展者IDカード作成 | ポスター配布 |
| 5月 26日-30日 | スポンサーへの進捗状況報告 | • 出展者最終打合せ – 5月30日<br>• パネル・ブース業者との最終打合せ<br>• スピーカーとの最終打合せ | • 会場側へバナー広告の提出<br>• メディアへの広報活動<br>• メディアへの招待状発送 |
| 6月 2日-6日 | | | • 新聞掲載<br>• 出場音楽バンドとの最終打合せ |
| 6月 7日(土) | 休日 | | |
| 6月8日(日) | | • 会場設営 | |
| 6月 9日（月） | | • ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞ・ｾﾚﾓﾆｰ<br>• 環境展<br>• セミナー | • プレス発表 |
| 6月 10日（火） | | • 環境展<br>• 音楽バンド<br>• 子供環境ﾎﾟｽﾀｰｺﾝﾃｽﾄ | • 環境展のメディア掲載記事などのフォロー |

チラシ、プログラム、ポスターなどの印刷物についてはAnnex10.3にその詳細が記されている。その他に、日本人商工会議所の環境部会のご協力を得て、会議所の月報に本環境展のお知らせ記事掲載並びに、年次総会においては環境展のチラシを配布して頂いた。

### 10.3.2 プレス・リリース

プレスのスポンサー確保のため、プレス・リリースメモを作成し、マーケティングを行った。その結果、マニラ・タイムスとK91KMラジオ局がスポンサーとなり、無償で環境展の広告を掲載／放送を実施した。またメディア・スポンサーとは別に、Philippine Daily Inquire とBusiness World に広告記事を掲載し、環境展開催を広くフィリピン国内に知らせる努力を行った。さらに、プレス関係者へ招待状の送付により、多くのメディアが環境展へ足を運び多くの新聞に掲載された（詳細記事はAnnex10.4参照）。

## 10.4 環境展の成果

二日間に渡って開催された環境展は、アネックスの写真にあるように非常の多くの来場者があり成功裏に終了した。マニラ・ペニンシュラでの初日は、200人以上、二日目SMメガモールでは、残念ながら、一般消費者（モールへの買い物客）の来場者登録が不可能であったため集計できなかった。

また、多くのメディア関係者（新聞社、テレビ局）が環境展を訪れ、記事の掲載並びに環境展の模様が放映され、環境展開催の目的「本調査の活動発表を通じて、フィリピン国内に産業環境マネジメントの意義について広める」が達成された。

# 11　EMPOWER ホームページ

# 11 EMPOWER ホームページ

## 11.1 EMPOWERホームページの目的

EMPOWERプロジェクトの目的、内容、進捗状況、セミナー開催に関する情報を提供するため、BOIのホームページにEMPOWERのホームページを作成した。EMPOWERプロジェクト終了後は、BOIのグリーン購入方針やIEMアクション・プランの実施に係る情報を提供するサイトに変更する予定である。

## 11.2 プロジェクト実施中のEMPOWERホームページ

### 11.2.1 EMPOWERホームページの構成

EMPOWERホームページの構成は図11.2.1のとおりである。

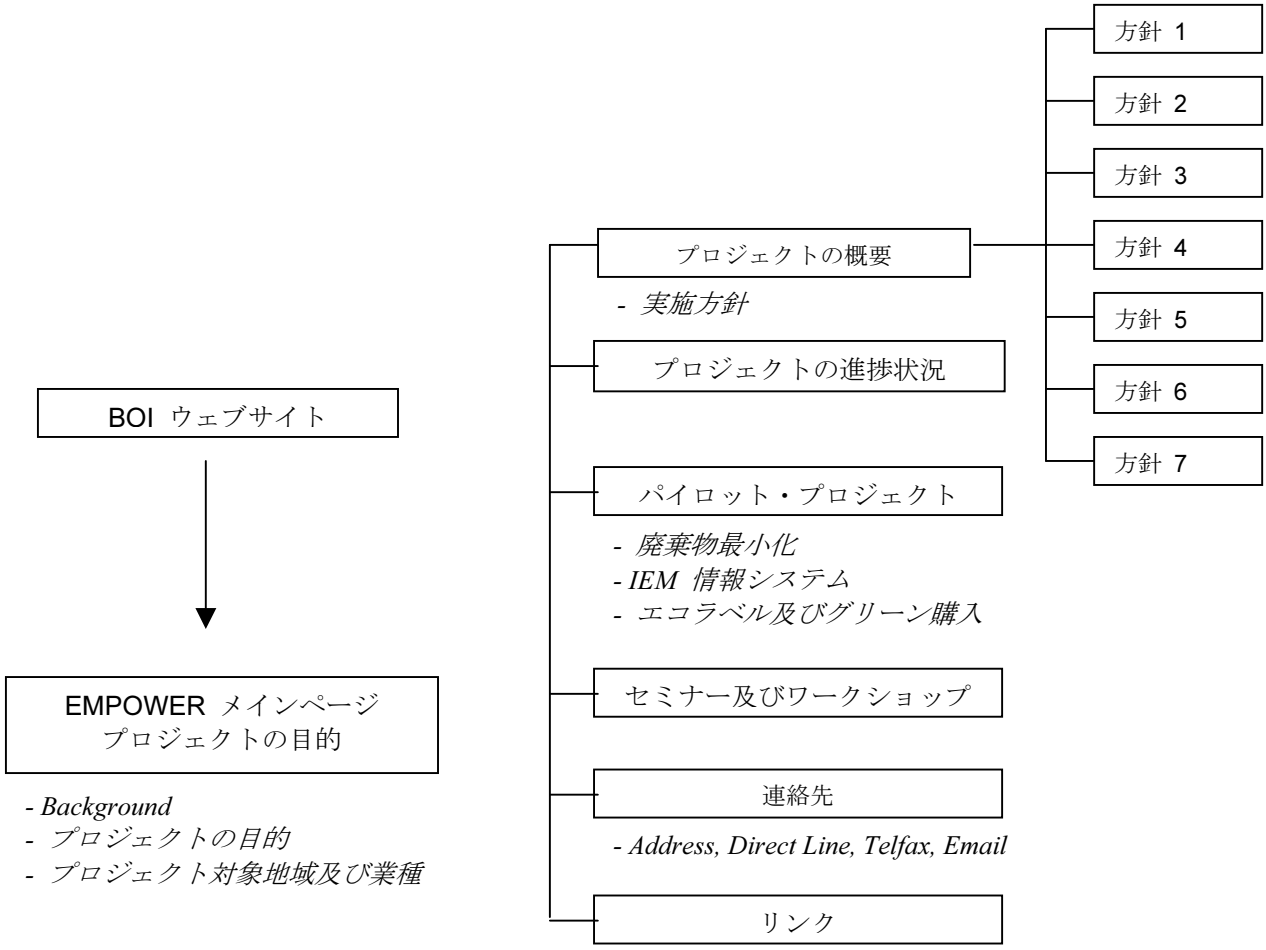


図11.2.1 EMPOWER ホームページの構成

EMPOWERホームページ（www.boi.go.ph/empower_home.htm）は、BOIのホームページのプロトコルに合わせて作成されている（図11.2.2参照）。

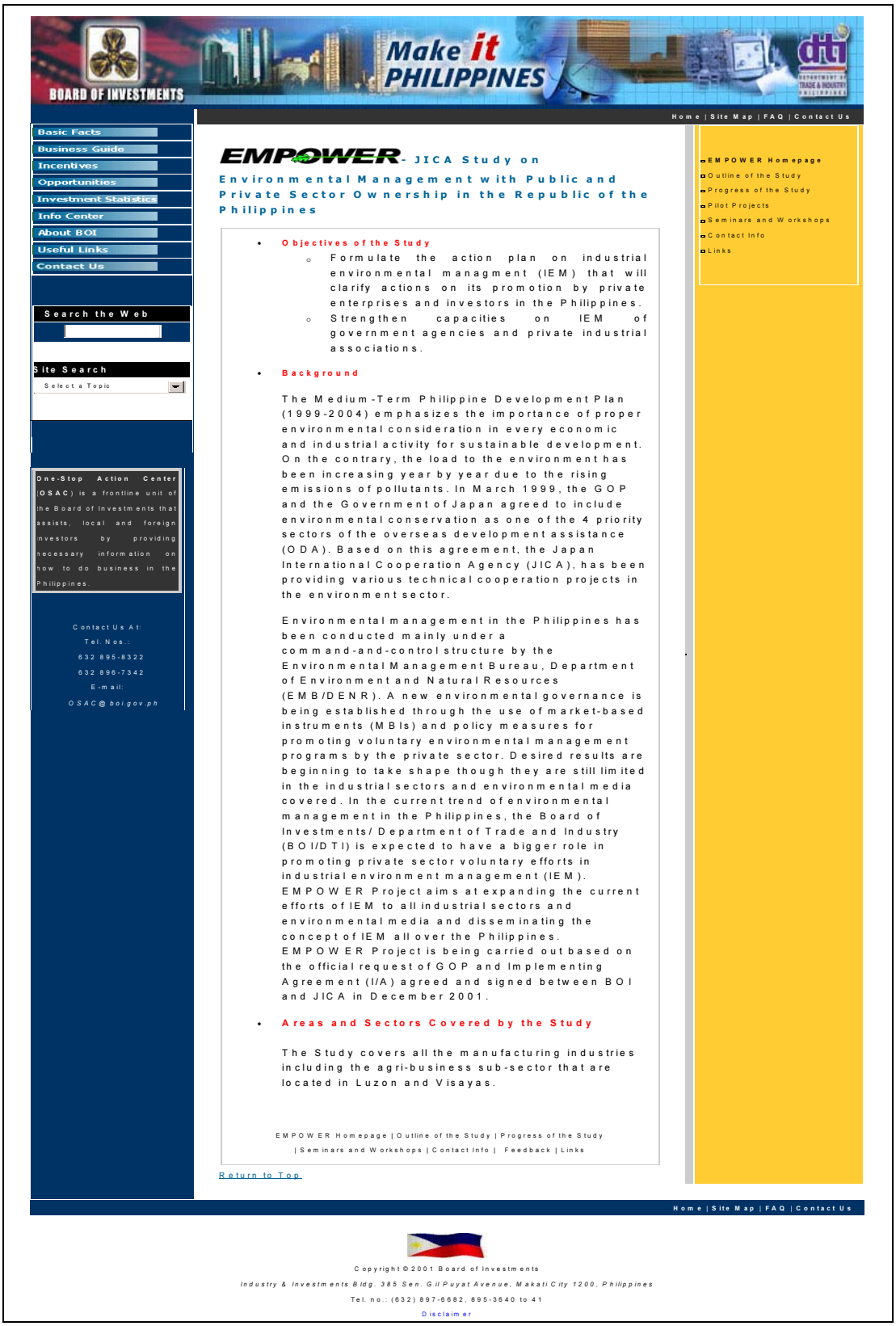


図11.2.2 EMPOWER メインページ

### 11.2.2 EMPOWERホームページの内容

**（1） EMPOWERプロジェクトの目的**

フィリピンにおける民間企業による産業環境マネジメントを推進するためのアクション・プランの作成と政府・業界団体等の能力強化をプロジェクトの目標として掲げ、プロジェクトの背景、対象地域、対象業種について整理した。

**（2） EMPOWERプロジェクトの概要**

EMPOWERプロジェクト実施にあたっての調査団の以下の7つの方針を説明した。

１）IEMに関する意識の啓発及び実際の取組みの産業全体への拡大

２）これまでのIEMに関する成果と課題の明確化

３）IEMの優先分野の把握

４）アクション・プランの作成を通してのIEMの推進

５）パイロット･プロジェクトを通してのIEMの推進

６）情報発信・意識啓発活動を通してのIEMの推進

７）ウェブサイト上での広報活動を通してのIEMの推進

**（3） EMPOWERプロジェクトの進展**

2002年末に、100社調査の概要、工業製品のライフ・ステージにおけるIEM対策、IEM推進の優先エリアの選定方針を追加した。

**（4） パイロット・プロジェクト**

廃棄物最小化、IEM情報システム、エコラベル・プログラム及びグリーン購入の3つのパイロット・プロジェクトの目的、期待される成果、活動内容、実施体制、プロジェクト選択基準を掲載した。

**（5） セミナー及びワークショップ**

4回のEMPOWERセミナー及び環境展の開催日時、場所、トピックをホームページでもアナウンスした。セミナー登録用紙もサイト上からダウンロードできるようにした。

**（6） リンク**

環境マネジメントに関連するプロジェクトやプログラムを実施している以下の機関のホームページにリンクを張った。

- Board of Investments (BOI)
- Environmental Management Bureau (EMB)
- Philippine Economic Zone Authority (PEZA)
- Laguna Lake Development Authority (LLDA)
- Philippine Business for the Environment (PBE)
- Philippine Chamber of Commerce and Industry (PCCI)
- The Philippine Industrial Estates Association (PHILEA)
- JICA Philippine Office
- UNDP Philippine Office
- ADB
- USAID in the Philippines
- World Bank in the Philippines

- Private Sector Participation in Managing the Environment (PRIME) Industrial Ecology Module

**(7)　連絡先**

JICA本部、JICAフィリピン事務所、調査団のコンタクト・パーソン、住所、電話・FAX番号を掲載した。

## 11.3 プロジェクト終了後のEMPOWERホームページ

### 11.3.1 BOI環境管理ホームページの構成案

EMPOWERプロジェクトの終了後は、EMPOWERホームページを、BOIのIEM推進に係る施策やプログラムを掲載するホームページ（仮称Environmental Management Corner）とし、図11.3.1に掲げるような構成とする予定である。

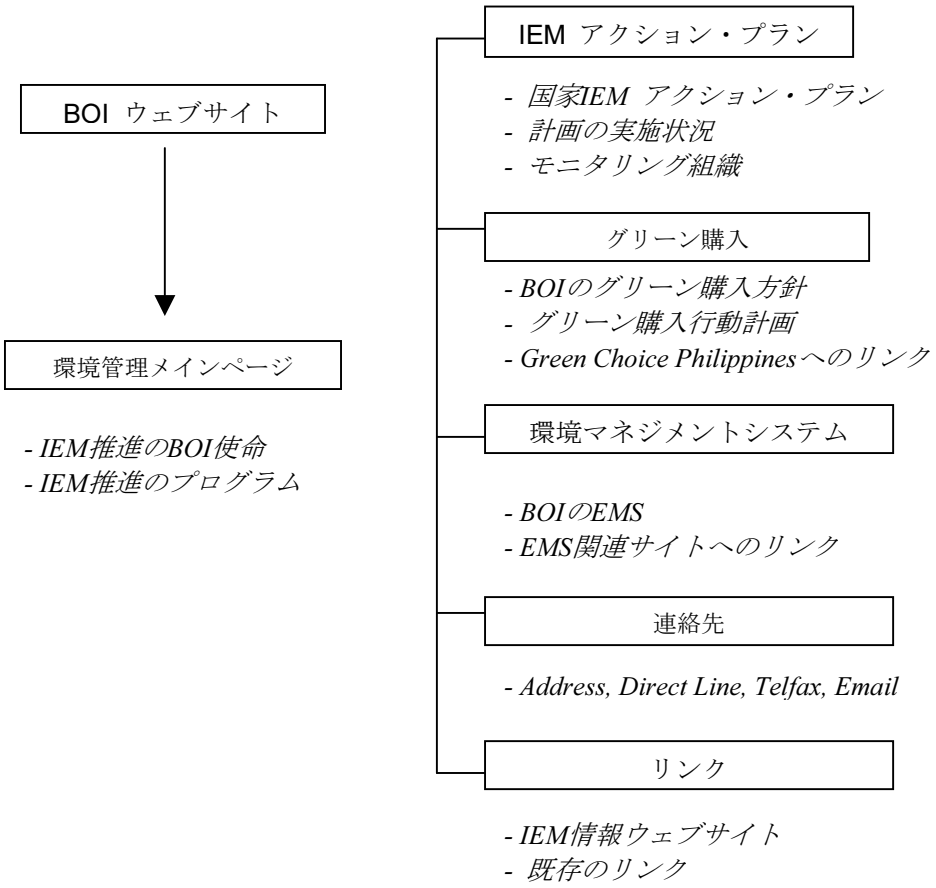


図11.3.1 環境管理ホームページの構成

### 11.3.2 BOI環境管理ホームページの内容

**（1） IEMアクション・プラン**

EMPOWERプロジェクトの中で作成されたIEMアクション・プラン、その進捗状況、進捗状況を監視するセクター横断的な委員会のメンバーとその活動を掲載する。

**（2） グリーン購入**

BOIのグリーン購入方針とグリーン購入アクション・プランを掲載する。グリーン・チョイス・フィリピンのウェブサイトが構築された際には、そのホームページへのリンクも張る。また、他の政府機関や民間企業がグリーン購入方針や計画を作成する際の参考資料として、EMPOWERプロジェクトの中で取りまとめた、諸外国のグリーン購入の事例についての報告書もダウンロード可能な文書として掲載する。さらに、他国のグリーン購入関連サイトや日本のグリーン購入ネットワークとのリンクも張る。

**（3） EMS**

他の政府機関や民間企業がEMSを構築する際の参考となるよう、BOIのEMSマニュアル及びBOIのEMSを維持、改善するための組織体制を掲載する。

**（4） 連絡先**

BOIの産業政策担当（Office for Industrial Policy）の住所、電話・FAX番号、電子メールアドレスを掲載する。

**（５）リンク**

IEM推進に関する更なる情報の入手について、本サイト閲覧者を案内するため、以下のサイトにリンクを張る。

- IEM Knowledge Network（IEM情報ウェブサイト）
- EMPOWERホームページに掲載したリンク先

# Part 4

# 提　言

# 12　総括と提言

# 12 総括と提言

## 12.1 総括

BOIとJICA調査団は、産業環境マネジメント（IEM）の政策強化を目的として、国のIEMアクション・プランの策定とパイロット・プロジェクトの実施を内容とするEMPOWERプロジェクトを共同で進めてきた。

国家IEMアクション・プランは、BOI、DENR、DOST、LLDA、DBP、LBP及び民間部門（業界団体及び企業）による既存のIEM推進の取組みと、EMPOWERのパイロット・プロジェクトの実施経験を踏まえ、IEMの推進に係る公共及び民間門の取組みの枠組み、具体のプログラムと関係者の役割を明確にした。国家IEMアクション・プランでは、その成功のため、公民のパートナーシップ、統合的及び利用者用に加工したIEM情報の提供、企業（特に中小企業）に対する技術支援と組織の育成、政策支援とインセンティブの提供というアプローチがとられている。国家IEMアクション・プラン案は、政府、産業界、環境NGO、援助機関といった多様な関係主体との円卓会議で議論された。最終案はBOIの運営委員会の承認を受けるのを待つばかりである。

また、パイロット・プロジェクトの実施を通じて、公共、民間団体、民間企業との連携によるIEMの発展の基盤づくりが行われた。特に、廃棄物最小化パイロット・プロジェクトでは、範囲と実施期間が限られたものの、IEMは便益を生むものであり、容易に実施できることを示すことができた。また、それぞれの関係者の役割が明確なことが、IEMの実施を促進することも確認された。IEM情報パイロット・プロジェクトでは、IEM推進にかかわる情報の提供の仕組みが構築され、ウェブサイトでの情報提供が開始された。さらに、エコラベル及びグリーン購入パイロット・プロジェクトでは、エコラベル制度の運営体制が整い、環境負荷のより少ない製品作りを奨励する仕組みが構築された。

これらのアクションは、IEMの発展にとり小さな一歩に過ぎないが、この小さな一歩を持続し、積み上げていくことが、これからのIEM発展の鍵となる。そこで、IEMに関係するすべての団体、個人にその持続のエネルギーをEMPOWERするため、BOIは、次のようなアクションをとることを提言する。

## 12.2 提言

### 12.2.1 IEMアクション・プランの実施

#### (1) アクション・プランのBOIでの正式承認

BOIにおける国家IEMアクション・プランの正式承認、BOIの中期計画への組み入れが検討されており、そのためのステップとして、BOIのマネジメント委員会でアクション・プラン案の説明が行われた。この国家IEMアクション・プランがBOIの計画として正式に承認されるとともに、BOI内部の産業環境分野の施策を担当する職員数を増員し、アクション・プラン実施体制を強化することが望まれる。

#### (2) アクション・プラン進行管理体制の確立

アクション・プランに掲げる活動については、活動ごとに関係主体とその役割を提示しているが、これらの主体間の連携を図るとともに、アクション・プラン全体の進行管理、評価、見直しを行う組織の設置が必要である。この組織については、EMPOWERプロジェクトのステアリングコミッティ・メンバーに加え、業界団体、環境サービス・プロバイダーからの代表者からなる監理委員会を設置することが予定されている。この委員会が、関係主体への行動開始・継続への働きかけ、限られた資源（予算、人員）の配分に関する優先順位づけと、それに応じたドナーへの資金支援の働きかけ、3年後の計画の評価、見直しなどを行っていくことが期待される。

#### (3) アクション・プラン実施に必要な資金の確保

アクション・プランに掲げた活動の実施にあたって必要となる資金は、まだ手当てされていないものが多い。ドナーを対象としたラウンドテーブルの実施をとおして、IEMの推進のためのフィリピン国の方向と優先的アクションについては、理解されていると考えられる。EMPOWERプロジェクト終了後も、前項で言及したアクション・プラン監理委員会が中心となって、アクション・プランへの資金支援を働きかけていくことが望まれる。

### 12.2.2 パイロット・プロジェクトの成果の普及発展

#### (1) 廃棄物最小化

モデル企業は廃棄物最小化によるコスト削減及び環境パフォーマンスの向上を同時に達成し、更なる取組みに意欲を見せており、業界ごとの廃棄物最小化アクション・プランを策定した業界団体からも、アクション・プランの実施にあたっての技術的支援を求める声が上っている。今後、関連機関からの更なる支援を得て、モデル企業及び業界団体のIEM活動を活発化させていくため、BOIは、モデル企業、対象業界が今後必要とする技術的支援の具体的な内容を把握し、支援の得られる機関との連携をはかることが求められる。

IEM対象業種の選定、モデル企業による対策の実施、その経験の業界への普及という手順はIEMアクション・プランの中に取り入れられ、今後は対象業種を拡大していくことになるが、対象業界の意欲を高めるためにも、BOIを始めとするパイロット・プロジェクト実施主体が、廃棄物最小化ガイドブック、IEM Knowledge Networkという情報媒体をとおして、今回のパイロット・プロジェクトの成果を広めていくことが期待される。

#### (2) IEM情報システム

IEM Knowledge Networkの一環として情報ウェブサイトは構築されたが、検索エンジンを用いたサイト内のデータベース検索の分りにくさ、関連サイトへのリンク不足など改良の余地がある。情報ウェブサイトの維持管理及び更新にあたっては、編集委員会を設置して取り組んでいくことになるが、PEBの会員企業を中心に、情報ウェブサイトの利用者アンケート等を実施し、ウェブサイトの利用者の意見を取り入れた継続的な改善を行っていくことが期待される。

#### (3) エコラベル・プログラム及びグリーン購入

パイロット・プロジェクトによって、エコラベル・プログラムの運営体制はほぼ整ったと考えられ、今後は、エコラベル対象製品のカテゴリー数の拡大、製造業者の認

証申請の促進、一般消費者のエコラベル認知度の向上が課題となる。これらの課題解決には、政府機関のエコラベル商品の率先的購入（グリーン購入）が、有効に働くと考えられる。グリーン購入については、BOIが基本方針とアクション・プランを作成し、政府における購入のグリーン化の先陣を切っている。グリーン購入の他省庁への普及は、グリーン購入を政府機関に求めるExecutive Orderの正式な採択によって大きく促進されることから、エコラベル・プログラムの事務局であるC&GFに、Executive Order採択への強い働きかけが期待される。

### 12.2.3 BOIによる情報の発信

EMPOWERプロジェクトの実施をとおして、BOIでは、国家IEMアクション・プランの策定、グリーン購入方針及びそのアクション・プランの策定、ISO14001取得に向けての準備を行ったが、BOIのホームページなどを利用してこれらの情報及び経験を広く周知していくことが望まれる。国家IEMアクション・プランについては、冊子にして配布し、関係主体への協力を呼びかけていくとともに、プランの進行状況などについてもホームページで情報を提供し、更なる協力を呼びかけていくことは有効と考えられる。グリーン購入については、他省庁への参考となるようにBOIの方針とアクション・プランをホームページに掲載し、他省庁からの問い合わせに対応できるような連絡先を示しておくことが望ましい。また、ISO14001の取得については、BOI内部のオペレーション・マニュアルなどを掲載することによって、他省庁の参考に資することになると考えられる。

# 参 考 文 献

# 参考文献

Asian Development Bank. (1997) Potential Uses of Market-based Instruments for Environmental Management in the Philippines.

Chemonics International, Inc. (2002) Industrial Initiatives for a Sustainable Development Contract Completion Report.

Cruz, Jamie R. (2001) An Assessment of Financial Incentives for Environmental Projects (draft).

International Resources Group Ltd., Edgevale Associates, Environment and Economics Center for Studies, Inc. (1999) The Philippine Environmental and Natural Resources Accounting Project (ENRAP Phase IV-B), Searchable Hyperlinked Electronic Library of Files (CD-ROM).

International Resources Group Ltd., Edgevale Associates, Environment and Economics Center for Studies, Inc. (1996) The Philippine Environmental and Natural Resources Accounting Project (ENRAP-Phase III) Main Report.

Development Bank of the Philippines. (1999) An Evaluation Guide for Environmental Projects in the Pulp and Paper Industry.

Development Bank of the Philippines. (1999) An Evaluation Guide for Environmental Projects in the Pig Farming Industry.

Development Bank of the Philippines. (1999) An Evaluation Guide for Environmental Projects in the Fish Canning Industry.

Development Bank of the Philippines. (1999) An Evaluation Guide for Environmental Projects in Beverage Industry.

Development Bank of the Philippines. (1999) An Evaluation Guide for Environmental Projects in the Coconut Oil Milling and Refining Industry.

Development Bank of the Philippines. (1999) An Evaluation Guide for Environmental Projects in the Cement Industry.

Development Bank of the Philippines. (1999) An Evaluation Guide for Environmental Projects in the Pulp and Paper Industry.

Development Bank of the Philippines. (1999) Waste Minimization Manual.

National Statistical Coordination Board (2001) The Philippine Statistics 2001 Edition (CD-ROM).

Philippine Business for the Environment. (1999) Business Strategies for Sustainable Development – Philippine Business Agenda 21.

PRC-Environmental Management, Inc. (1996) Philippine Industry's Response to Waste Minimization – Pollution Prevention Success Stories.

PRC-Environmental Management, Inc. (1994) Industrial Environmental Management Project (IEMP) Policy Study #3-5 – Market-based Instruments to Promote Pollution Reduction in the Philippines.

PRC-Environmental Management, Inc. (1993) Industrial Environmental Management Project (IEMP) Policy Study #1–Financial Resources to Fund Environmental Investments Final Report.

Querbin, Rosario G. (2001) An Assessment of Fiscal Incentives for Environment Projects Final Report (for IISE Project).

Merz, Sinclair Knight; SEATEC; Tetra Tech EM Inc. (1998) Evaluation of Environmental Standards for Selected Industry Subsectors – Final Report.

USAID. (2000) Impact Evaluation – Reducing Urban and Industrial Pollution in the Philippines.

World Bank. (2001) Philippines Environment Monitor 2001.

World Bank. (1992) MEIP/ Industrial Efficiency and Pollution Control (IEPC) programme. Final Report of Metro Manila Study, Metropolitan Environmental Improvement Program.